

2025年度 広島修道大学 事業計画

<広島修道大学>

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）	所管部局	実施月	評価指標
I 教育	1. 学修者本位の教育の実現	①教学マネジメント事項の実効性を高めるため、内部質保証体制に関わる組織の位置づけを明確にする ②学修ポートフォリオを有効活用するため、正課に関する仕組みの試行と正課外に関する検討 ③次期カリキュラム改正に向けて、現カリキュラムの検証と学修者本位の教育についての全学的な理解を深める ④専門的職業人、知識基盤社会を支える研究者または高度専門職業人の輩出人数のため、各研究科・専攻の3つのポリシーとカリキュラムとの整合性を検証 ⑤包括的な学生支援の仕組み構築に向けて、「機構」における学習支援の準備及び生活支援・活動支援の課題の抽出をふまえた窓口ワンストップ化の有効性の検討 ⑥学修者本位のカリキュラムによる成長可能性を念頭に選抜方法の改革のため、年内入試の現状分析と課題の抽出及び他大学等情報収集 ⑦安定的な志願者の確保のための大学院入試や学生募集の課題抽出	教育組織 教職課程委員会 教学マネジメント委員会 財務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター ひろしま未来協創センター 入学センター 国際センター 学習支援センター	年間	①内部質保証体制図の更新 ②学修ポートフォリオの記入率 ③教学マネジメント委員会での2024年度カリキュラム検証報告 授業アンケート平均満足度 ④3つのポリシーとカリキュラムとの整合性評価 実施率 ⑤「機構」設置に向けた準備状況 窓口ワンストップで提供可能なサービス ⑥年内入試における課題の数 ⑦大学院入試・学生募集における課題の数 情報発信改善提案の数
	2. 教育の質を高めるための支援と検証体制の充実	①教育の質向上に有効と考えられる教育手法を共有する機会や、改善の必要性の有無を客観的に考える機会を検討 ②アセスメントプランの十分な活用に取り組む ③教育の質の向上、学修成果の向上のための施設・設備の現状分析と有効活用方法の検討 ④教員活動評価の検討とも連動させながら、表彰（インセンティブ）の仕組みを検討 ⑤SA・TA制度の本格的な運用開始と検証、及び拡充のための人的・予算的措置の検討	教育組織 教職課程委員会 教学マネジメント委員会 総務部 財務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター 図書館 ひろしま未来協創センター 入学センター 国際センター 学習支援センター	年間	①教員が教育手法を共有する機会 客観的なデータに基づいて教育改善の必要性を検討した会議回数 ②アセスメント結果に基づいたFDの実施回数 各回参加率 ③現状分析に基づいて提案された有効活用方法の数 ④表彰基準、選考方法、表彰内容などの具体的な策定 ⑤制度を利用した授業の満足度 拡充のための人的・予算的措置の検討数
	3. エンロールメント・マネジメントの実現	①IR室のあり方について検討 ②エンロールメント・マネジメント体制構築のためのワーキンググループ設置 ③学生に関するデータ種類の把握・整理 ④以下の内容について現行制度の検証 a. 学生の学習意欲の持続と向上に貢献する効果的な経済的支援制度 b. 学生のチャレンジ精神を育て、その努力を公正に評価し、さらなる意欲につなげるための表彰制度 c. 学生の課外活動の活性化と活動成果のさらなる発展を目的とした、経済的・組織的支援制度 ⑤表彰制度の基準の確定 ⑥同総会や後援会と大学の連携について、現行のあり方の検証と改善策検討 ⑦配慮学生に対する現行体制の検証	教育組織 総務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター ひろしま未来協創センター 入学センター 情報センター 国際センター 学習支援センター	年間	①IR室の役割、機能、組織体制などに関する具体的な検討結果 ②エンロールメント・マネジメント体制構築のためのワーキンググループの設置 ③エンロールメント・マネジメントに必要な学生に関するデータの種類をリスト化 ④検証に基づいて明らかになった改善点の数 ⑤基準の確定 ⑥検証に基づいて明らかになった改善点の数 各改善点に対する具体的な改善策の数 ⑦検証に基づいて明らかになった改善点の数
	4. グローバル・コンピテンスの向上	①グローバル・コンピテンส์についての理解を深める ②現在の関連カリキュラム（ワールド・ステージ・プログラム、外国語、外国文化理解、国際関係等）の検証 ③キャンパス内において、異文化理解力を高め、多文化共生を考える機会を充実させるための現状検証と課題抽出 ④留学生を増やすため、本学、国内外、国の政策及び補助金等の現状の検証 ⑤留学生入試改革の検討	教員組織 教学マネジメント委員会 学長室 学生センター 教学センター 入学センター 国際センター 学習支援センター	年間	①グローバル・コンピテンスに関する研修会・ワークショップへの参加率 ②グローバル・コンピテンスの観点から抽出されたカリキュラム改善点の数 ③年間の異文化理解促進と多文化共生に関するイベント参加者数の合計 ④現状分析で明らかになった留學生受け入れに関する課題の数 ⑤検討された入試改革案の数
	II 研究	1. 研究活動推進の全学的な機運醸成	①各教員の研究成果を共有する定例的な機会の検討と試行 ②研究活動推進により注力するための組織を構築するための方針策定及び組織再編準備 ③学術論文及び根拠データへの即時オープンアクセス運用に向けた体制、仕組みの構築	教育組織 学長室 図書館 ひろしま未来協創センター 情報センター	年間
2. 効果的な支援による個別研究の活性化	①大学全体の研究パフォーマンスを高めるため、現状の検証及び「優秀な研究者」の定義整理やインセンティブの内容の検討・方針提案 ②研究生産性を高めることを目的とした、研究費のあり方及び研究費の執行方法の改善を行うため、現状の検証、研究費と執行手続きに関する課題の抽出及び制度案・改善方針の策定 ③ワーキンググループの設置	教育組織 総務部 財務部 学長室 ひろしま未来協創センター	年間	①「優秀な研究者」の明確な定義が策定されている インセンティブの内容が具体的に検討され具体的な方針が提案されている ②研究費のあり方及び執行方法の改善に関する全額の方針の策定 現状分析で明らかになった研究費と執行手続きに関する課題に基づき提案された制度案の数 ③ワーキンググループの設置	
3. 教育還元・社会還元のための研究成果の質的量的拡充	①外部資金獲得に関する方針策定 ②外部資金獲得に関するFD等の実施 ③研究成果発信について現状分析と意見収集 ④職務発明やその知財化に関する理解を深めるセミナー等の実施 ⑤知財シーズの発掘	教育組織 総務部 財務部 学長室 ひろしま未来協創センター 入学センター	年間	①外部資金獲得に関する方針策定の完了 ②外部資金獲得に関するFD等の開催回数 上記参加人数（実人数） ③研究成果発信に関する意見の数 ④セミナー参加者アンケートによる、職務発明や知財化に関する理解度 ⑤新たに発掘された知財シーズの数	

2025年度 広島修道大学 事業計画

<広島修道大学>

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）	所管部局	実施月	評価指標
III 社会貢献・地域貢献	1. 地域に開かれた大学（キャンパス）づくり	①他大学調査等各施設の開放のあり方と本学現状の把握 ②効果とリスクの洗い出し ③「地域に開かれたキャンパス」の方針策定 ④産学官ラボの準備 ⑤社会人学生、リカレント教育、産学官連携等、教育研究環境の拡大を念頭においたサテライトキャンパスの必要性についての再検討（効果的なコンテンツ検討） ⑥サテライトキャンパスの立地検討	教育組織 財務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター 図書館 ひろしま未来協創センター 国際センター	年間	①調査対象とした大学数 現状把握において調査・分析した項目の数 ②キャンパス開放による効果とリスクの抽出数 ③キャンパス開放に関する方針の策定 ④産学官ラボの準備状況：準備完了までの進捗度 ⑤サテライトキャンパス設置の必要性に関する検討結果 検討された効果的なコンテンツ案の数 ⑥検討されたサテライトキャンパスの候補地の数
	2. 連携の推進と魅力ある連携事業の実現	①地域の産学官組織から委員が参画する協議会を設置 ②協議会の実施 ③包括的連携協定を結んでいる連携協定先などと a. 現在実施している教育事業の検証 b. 研究連携の実施に向けた現状把握と検証（実績、制度、研究シーズの提供方法等） c. キャリア支援連携事業の現状把握と検証	教育組織 教職課程委員会 教学マネジメント委員会 学長室 キャリアセンター ひろしま未来協創センター	年間	①、②協議会の実施回数 ③ a. 検証に基づいて明らかになった教育事業の改善点の数 各改善点に対する具体的な改善策の数 b. 連携協定先との研究連携に関する現状把握（共同研究の実施件数、論文発表数、外部資金獲得件数、研究連携に関する制度の整備状況、研究シーズの提供方法） c. キャリア支援連携事業の実施件数 参加者数合計 現状把握と検証で明らかになった課題の数
	3. 学生の社会活動の活性化	①「地域つながるプロジェクト」を持続的な地域貢献へつなげていくために、プロジェクトが活動地域に与えた効果等調査 ②多様な活動を行う学生を全学的な財産として位置づけ、各活動の活性化を図るとともに、支援する有効なあり方を実現するため a. ワーキンググループの設置 b. 現状の検証 c. 学生活動の拡大や深化のための課題、事務分掌の課題の整理 ③アントレプレナーシップに関する全学的な理解の醸成	教育組織 学生センター 図書館 ひろしま未来協創センター 入学センター	年間	①活動地域への社会効果（地域住民の意識変化、地域課題の解決度合いなど）、学生への教育効果（学生の地域貢献意識の変化など）の結果報告 ②学生の活動状況（活動の種類、参加者数、活動頻度など）、支援体制（学生の活動を支援する体制の整備状況）の検証報告 学生活動の拡大や深化、事務分掌における課題の数 ③アントレプレナーシップに関する理解のための実施回数
IV 大学運営	1. 働きやすく生産性の高い職場環境の構築	①リモートワーク、ハイブリッドワーク、フレックスタイム制度等の勤務形態導入の検討 ②事務システム更新時期とシステム間連携の現状把握及び調整 ③すべての業務プロセスの可視化	総務部 財務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター 図書館 ひろしま未来協創センター 情報センター 入学センター 国際センター 学習支援センター	年間	①具体的な勤務形態の検討結果報告 ②各システムの更新時期の明確化 システム間連携の現状把握とシステム間連携に関する調整状況確認結果の報告 ③可視化された業務プロセスの率
	2. 健全な財政基盤の維持	①他大学における予算配分の適切性確保のための仕組みの調査と本学への適応可能性の検証 ②他大学や民間企業等における事業計画と予算・決算の同期例等の調査と本学への適応可能性の検証 ③資金運用の目的と運用方針の明確化 ④目標寄附収入（寄附研究費を除く）以上の寄附を継続的に得るため、過去の実績検証し、寄附履歴を見直す ⑤「寄附したい」と思える寄附募集活動のあり方の検討 ⑥入学定員・収容定員の確保の現状と見通しの検証 ⑦授業料や他の諸納付金の現状の検証、授業料等変更スケジュールの確定	総務部 財務部 学長室 教学センター 入学センター	年間	①調査対象大学数 調査結果の分析（調査結果をどのように分析し、自大学への適応可能性を検討したか）報告 ②調査対象とした大学・企業数 事例調査から得られた知見、課題、成功要因など分析結果の報告 ③資金運用の目的が明確に定義されている 運用方針が明確に策定されている ④実績検証報告（年間の寄付者数、年間の寄付金額、寄付目的別の金額、割合） ⑤検証を踏まえた、課題・改善策の検討結果の報告 ⑥入学定員・収容定員の確保の現状と見通しの検証結果報告 ⑦授業料や他の諸納付金の改定の有無及び授業料等変更スケジュールの確定
	3. 個々と組織の成長につながる人財活用制度の構築	①高等教育機関の職員に期待される現代的役割について全学的な理解と共有を進め、役割を実現できるキャリアパス制度を構築するため a. 現状の検証 b. 役割理解のための体系的SDの計画と実施 ②大学の社会貢献と各教員の能力向上に資すると同時に利益相反等を回避する教員の学外業務（兼業・副業等）の適切な取り扱いを行うための、現状検証と他大学調査 ③長期的視点にたった教職員人事マネジメント改革のための現状の検証と他大学調査	総務部 財務部 学長室 ひろしま未来協創センター	年間	①現状の検証結果（アンケート調査などによる職員の役割に関する認識度、職員のキャリアパスに対する意識、要望、課題）報告 体系的な職員研修（SD）計画の策定 ②学外業務に関する定義・基準の明確化 現状分析、他大学調査等より明らかとなった教員の学外業務に関する課題・問題点の数 ③教職員の年齢構成、人材の多様性、流動性、給与制度等に関する現状報告 他大学における人事マネジメント改革の取り組み状況、成果、課題等の報告
	4. 危機に強いマネジメント体制の構築	①現行BCPの検証 ②強化が必要な施設・設備等の洗い出し ③BCPに関する研修等学内周知の強化	総務部 財務部 学長室 学生センター 教学センター キャリアセンター 図書館 ひろしま未来協創センター 入学センター 情報センター 国際センター 学習支援センター	年間	①改訂が必要なBCPの項目数 ②強化が必要とされた施設・設備等の数 ③BCP研修の教職員参加者率 シナリオシミュレーション実施回数と行動訓練の実施回数の合計

2025年度 広島修道大学 事業計画

<広島修道大学>

主要項目	行動計画（事業計画期間）	行動計画（単年度）	所管部局	実施月	評価指標
V 挑戦的取り組み	1. 多様な学生が集う学び舎づくり	①費用対効果を十分に考慮しながら、学生のキャンパス生活水準向上とSDGsの達成に貢献できる校舎等の立替や改築のための現状分析 ②ユニバーサルデザインの視点とリスク管理の視点からのキャンパスの現状検証（ソフト面、ハード面） ③学生の居場所についての現状検証 ④新学部棟設計時の考慮	総務部 財務部 学生センター 図書館	年間	①現状分析に基づいた具体的な課題数 ②ユニバーサルデザインやリスク管理の観点からの現状検証に基づく問題点の数 ③アンケートの回答率 アンケート項目内容
	2. 広島修道大学（修大ブランド）のプレゼンス向上	①私立大学等改革総合支援事業における地域社会への貢献タイプに採択されるために必要な活動・組織・規程の整備 ②各地、各業界で活躍する卒業生との連携を深め、修大生のロールモデルとして、在学生や高校生に示し、在学生のプライド醸成、高校生にとっての価値向上のため a. 現状の検証 b. ロールモデル提示手法の検討 ③大学広報、オープンキャンパス、300周年事業などでのブランドビジュアルの展開	教育機関 総務部 財務部 学長室 入学センター	年間	①採択要件充足率 ②現状分析に基づいた具体的な課題数 ロールモデル候補者リストの作成 ロールモデル提示手法に関するアイデアの数 ③大学広報物におけるブランドビジュアルの使用率
	3. 活動の活性化につながる教員活動評価制度の構築	①教員活動状況評価制度の見直し案と教員活動データシステムの更新スケジュールの検討	学長室 総務部	年間	現状分析に基づく問題点・改善点の数 新制度における評価項目の決定 制度変更工程表の完成
	4. 長期的な教育組織（学部・学科・大学院・教員組織）再編計画の策定	①社会学科の円滑な運営と検証及び設置計画履行状況等（AC）報告への対応 ②新学部設置計画の着実な遂行と設置認可申請準備 ③大学院組織再編のための計画策定と再編準備	教育組織 財務部 学長室 教学センター 入学センター	年間	①AC報告提出期限遵守 AC報告の評価 ②設置認可申請書類の提出 ③大学院再編方針策定の完了 大学院再編委員会の設置 3つのポリシー策定の進捗度 教員配置計画の進捗度